

NEWS LETTER

男女共同参画の
推進に向けて

名古屋市立大学男女共同参画推進センターニュースレター

発行

名古屋市立大学男女共同参画推進センター 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
TEL : 052-853-8577 E-MAIL : sankaku@sec.nagoya-cu.ac.jp
URL : http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/gender/

Vol.17

シンポジウム報告

AICHI女性研究者支援コンソーシアム「女性上位職事例紹介シンポジウム」

「出産と仕事—本当の理解と選択」

10月12日 名古屋市立大学病院 3階大ホール

を開催しました。



写真上/本学医学研究科杉浦真弓教授による基調講演
同下/パネリストによる活発な議論が展開

今日の若い世代の将来設計で迷うことのひとつに、仕事をしながら出産というライフイベントをどのように乗り越えるかの課題があります。個人として出産という選択肢をどのように理解したらよいか、また組織は女性リーダーを登用するためにどのような方策を考えればよいか。

本学医学研究科杉浦真弓教授による基調講演では、女性が知識を持って妊娠の適切な時期を選択することの重要性を学びました。

また、パネルディスカッション「産み時を理解できる企業の取り組み」では、株式会社スギ薬局商品統括部ビューティケア部部長の岡野恵子氏、カルビー株式会社執行役員中日本事業本部部長の福山知子氏より、子育てを経験しながらも上位職にて活躍されている女性社員としての経験が語られました。

参加者からは、女性の多様な生き方があってよいという登壇者の言葉に共感が寄せられました。また、生き方が多様であってよいのだから、主体的に人生を選択したいという思いを新たにされた女性も多かったです。

今後も本コンソーシアムでは、あいち女性の活躍推進に取り組んでいきます。



シンポジウム参加者の感想

- 本当に自分はどう生きたいのかを考えるきっかけになり、勇気が沸いてきた。
- 根底にはまだ性的役割分担の意識がある社会で、多様性のある働き方、生き方を認めていくことは本当に難しいことだと改めて思った。
- 女性活躍のシンポジウムであったが、産まない選択、上位職をめざさない選択を示していたことはよかった。
- 娘が成人する20年後には、女性が後悔しなくてよい、生きやすい時代になってほしい。
- キャリアのみに目を向けるのではなく、女性性を生きることについても改めて考える機会となった。
- 今回のようなシンポジウムを名市大の看護師向けに開催してほしい。

NEWS LETTER
Vol.17
CONTENTS

P1 シンポジウム報告

・「出産と仕事—本当の理解と選択」

P2 事業報告 教養課程特色課目の紹介

・前期:地域特色2「地域社会で活躍する女性」
・後期:「ワーク・ライフ・バランスとダイバーシティ」(継続中)

P3 事業報告・研究力強化セミナー

P3 イベント報告

・女性研究者ランチミーティング ・介護勉強会
・ワーク・ライフ・バランスセミナー ・ヨガ教室

P4 お知らせ

・キャリア支援・奨励賞・保育園からのお知らせ

教養課程特色課目の紹介

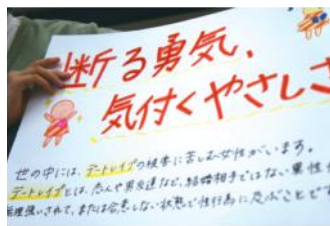
男女共同参画推進センターでは、学生が社会的性差(ジェンダー)と平等についての理解し、考え方や行動に生かすことができるように、平成24年度から教養課程特色科目を実施してきました。今年度からは前期と後期に1科目ずつの計2科目の実施となりました。

前期 地域特色2「地域社会で活躍する女性」

ジェンダーについて総合的な知識、情報を得るとともに、組織の経営者として、あるいは上位職で活躍する女性として経験を語っていただきました。ジェンダーの固定的役割にとらわれることなく、柔軟な発想と多様性の尊重により、男性も女性ものびやかに生きられる社会をつくることができると感じました。様々な業界の異なる事情や必要な資質、能力についても聞くことができ、就職活動にも役立つそうです。



ユニー株式会社の百瀬則子氏



学生が製作した啓発ポスター

後期「ワーク・ライフ・バランスとダイバーシティ」(継続中)

固定的な性別役割分業の地平を超えて、男女の新しい社会的分業をめざすにはどうすればよいか。仕事と生活の両立はどのように実現できるのか。ジェンダーだけではなく、障害者、社会的弱者、外国人が抱える問題をも取り上げ、多様性(ダイバーシティ)に富んだ社会形成の可能性について考えます。各部署、各分野における現実と議論のポイントについて、多面的に講義を展開しています。



病院薬剤部 萩原宏美特任助教



ジェンダーを理解するためのグループワーク

第1回 (4/15)	男女共同参画推進センター 井上泰夫前センター長
第2回 (4/22)	男女共同参画推進センター
第3回 (5/6)	ワーク・ライフ・バランス相談員 木下 薫
第4回 (5/13)	株式会社エステム
第5回 (5/20)	常務取締役 塩崎敦子氏
第6回 (5/27)	株式会社名南経営コンサルティング 特定社会保険労務士/産業カウンセラー 宮武貴美氏
第7回 (6/3)	リゾートトラスト株式会社 人事部 ダイバーシティ推進室長 吉田幸代氏
第8回 (6/10)	株式会社キャリアビジョン
第9回 (6/17)	代表取締役 野村恵美子氏
第10回 (6/24)	男女共同参画推進センター ワーク・ライフ・バランス相談員 木下 薫
第11回 (7/1)	ユニー株式会社 執行役員グループ環境社会貢献部 部長 百瀬則子氏
第12回 (7/8)	名古屋市総務局男女平等参画推進室 主査 千喜良美由紀氏、村瀬智子氏 イーブルなごや相談員の皆さん
第13回 (7/15)	名古屋市総務局職員部人事課 課長 杉浦弘昌氏
第14回 (7/22)	学生による報告
第15回 (7/29)	男女共同参画推進センター 井上泰夫前センター長

第1回 (9/30)	男女共同参画推進センター 井上泰夫前センター長	オリエンテーション
第2回 (10/7)	システム自然科学研究科 森山昭彦教授	「ジェンダーと科学」
第3回 (10/14)	医学研究科視覚科学分野 加藤亜紀講師	「医療における 仕事の進め方・あり方」
第4回 (10/21)	医学研究科長 浅井清文教授	「医療における ワーク・ライフ・バランス」
第5回 (10/28)	病院薬剤部 萩原宏美特任助教	「ワーク・ライフ・バランスと 私の軌跡・経験」
第6回 (11/4)	病院救命救急センター 平原広登看護師長	「看護における男性・ 女性の協力」
第7回 (11/11)	芸術工学研究科 鈴木賢一教授	「ユニバーサル・ デザイン」
第8回 (11/18)	経済学研究科 山本陽子教授	「ワーク・ライフ・バランス と企業業績」
第9回 (11/25)	経済学研究科 藤田菜々子教授	「少子化とワーク・ライフ・バランス -1930年代のスウェーデンの経験」
第10回 (12/2)	薬学研究科 菊池千草講師	「薬剤師をとりまく生物学的 性差と社会的性差」
第11回 (12/9)	人間文化研究科 宮下さおり准教授	「職業と家庭生活の調和 -オランダモデル」
第12回 (12/16)	人間文化研究科 宮下さおり准教授	「職業における ダイバーシティ」
第13回 (1/6)	看護学部 寺口顕子准教授	「親性の発達と就労女性の 妊娠・出産・子育て支援」
第14回 (1/13)	看護学部 堀田法子教授	「児童虐待・子育て支援」
第15回 (1/20)	男女共同参画推進センター 井上泰夫前センター長	まとめと結論

研究力強化セミナー 事業報告

英語プレゼンテーションセミナー(桜山キャンパス)

- 開催日時：6/6～8/30 12回シリーズ
- 講師：Tam Young 氏 参加者：24名

英語論文Live Editingセミナー(桜山キャンパス)

- 開催日時：9/12～11/7 6回シリーズ
- 講師：Tam Young 氏 参加者：10名

英語論文投稿セミナーI(桜山キャンパス)

- 開催日時：7/14 17:30～19:00
- 講師：医学研究科細胞生化学分野 島田緑講師
医学研究科ウイルス学分野 田中靖人教授
エルゼビアジャパン(株) 高石雅人氏
参加者：24名

※URA オフィス、総合情報センター、男女共同参画推進センター共催

英語論文投稿セミナーII(山の畑キャンパス)

- 開催日時：9/6 13:00～14:30
- 講師：経済学研究科 戸谷英樹教授
エルゼビアジャパン(株) 高石雅人氏
参加者：65名

※URA オフィス、総合情報センター、男女共同参画推進センター共催

講師陣の皆さん



Tam Young 氏



医学研究科 島田緑講師



医学研究科 田中靖人教授



経済学研究科 戸谷英樹教授

イベント等報告

女性研究者ランチミーティング

(6月29日 12:00～13:00、男女共同参画推進センター)

今年4月に男女共同参画推進センター長に着任された、医学研究科教授の杉浦真弓先生を話題提供者としてお招きした女性研究者ランチミーティング。女性教職員あわせて8名が参加しました。

話題は研究の目標、結婚までの成り染め、海外生活事情と多岐に渡り、笑いあり、驚きありの和やかな雰囲気でのランチ会でした。



ランチミーティングの様子

介護勉強会「介護を語る夕べ&看取りのワーク」

(6月29日 17:30～18:50、男女共同参画推進センター)

名古屋市社会福祉協議会瑞穂区東部いきいきセンターセンター長である長嶋寛子氏をお招きし、自治体において活用できる社会資源をご紹介します。

また、勉強会の後半は、本学看護学部池田由紀先生より「看取りのワーク」を紹介いただき参加者が体験しました。

(平成26年度採択 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業【連携型】」事業)



今、大学生に伝えたい

～ワーク・ライフ・バランスを男性の視点から～

(6月30日 13:00～14:30、山の畑キャンパス1号館)

働く人たちのロールモデル集作成のキックオフイベントとして開催したこの学生向けセミナーでは、社会保険労務士でファザリングジャパン理事の横井寿史氏が、子育ての経験が仕事に生きている実感や、夫婦の家事分担の極意などをお話しくださしました。



横井寿史氏から話を聞く

リラックスヨガ教室

(桜山キャンパス西棟2階 看護学部演習室A)

ワーク・ライフ・バランスに最適な運動は不可欠です。でも「忙しい」、「面倒」、「続かない」と何も始めていない人も多そうですね。

男女共同参画推進センターのリラックスヨガ教室は週1回40分間、気軽に参加できるのが魅力。今年11月で3周年を迎えました!

参加者からは、身体が伸ばせて気持ちいいなどの感想が寄せられています。

ランチタイムにヨガで心身のバランスを整えませんか? 日程はお問い合わせ下さい。



ヨガ教室の様子

英語プレゼンテーション集中セミナー

- 日時：12月26日(月)、27日(火) 9:00～17:00
12月28日(水)9:00～15:00 (3日間)
- 場所：桜山キャンパス男女共同参画推進センター
- 講師：Tam Young 氏

サイマルアカデミー講師による英語プレゼンテーション研修

- 日時：1月30日(月)、31日(火) (2日間)
9:00～17:00
- 場所：桜山キャンパス西棟看護学部講義室 A
男女共同参画推進センター
- 講師：サイマルアカデミー ネイティブ講師



女子学生キャリア支援セミナー

「女性起業家から学ぶ、なりたい自分に近づくための思考とコミュニケーション」

- 日時：1月25日(水)
17:00～19:00
- 場所：山の畑キャンパス3号館
(経済学部)大会議室

内容

- 第1部 「ターニングポイント」で自分を語る
一前向きコミュニケーションのすすめ—
講師：野村恵美子氏 (株式会社キャリアビジョン代表取締役)
- 第2部 洗練と自信で美しくふるまう 一大学生のためのマナー講座—
講師：高田将代氏 (マナースクールランベリー代表)



男女共同参画奨励賞
表彰式・事例報告会

- 日時：1月25日(水) 15:00～16:00
 - 場所：桜山キャンパス同窓会館(厚生会館東棟)
- 男女共同参画奨励賞とは、公立大学法人名古屋市立大学における男女共同参画宣言の趣旨に鑑み、男女共同参画社会の実現に関連する優れた研究・活動を行っている本学の教職員および学生等に対して、学長から表彰を行うものです。

ワーク・ライフ・バランス相談室

仕事とプライベート、どちらも充実させたい。今のあなたが実現したい両立の姿に向けて、ともに考えます(要予約)。



- 相談窓口：☎052-853-8589
✉wlb-sodan@sec.nagoya-cu.ac.jp

「ワーク・ライフ・バランス ロールモデル集」を作成中

男女共同参画推進センター(旧女性研究者支援室)では、2012年と2013年に「女性研究者ロールモデル集」1巻、2巻を発行しました。あわせて25名の教員、大学院生にインタビューを行い、研究に対する思いや夢などを語っていただいたこの冊子は、将来研究者をめざす高校生や大学生に広く読まれています。今年度は、ワーク・ライフ・バランスをテーマとして、本学に勤務する教員および職員の働く姿を取り上げることになりました。作成には学生が積極的に参加しています。経済学部山本陽子教授、および人文社会学部奥田伸子教授による合同ゼミの学生が、9月から5名のインタビューを終えました。また、人間文化研究科修士課程1年の柘植みのりさんが、男女共同参画推進センターのパートタイムスタッフとして、インタビューのしかたを学生に指導し、記事を取りまとめています。今年度中に10名のロールモデルのインタビューを目標としています。完成をご期待ください。



柘植みのりさん

柘植みのりさんよりメッセージ

大学院では家族社会学を学んでいます。学生である私は、今までワークライフバランスといっても漠然としたイメージしか抱いていませんでした。しかし、子育て中の方、子育てが一段落した方など、様々な立場の方のお話を実際に伺い、自分はこれから何を軸に人生を選択していきたいのか—どんな働き方、どんな家族生活、どんな趣味や地域活動を自分が望むのか—をより深く考えるようになりました。より多くの人の参考になるような、ロールモデル集を作り上げたいと思います。

さくらんぼ保育所だより

園庭にて芋掘りをしました

さくらんぼ保育所の園庭には畑があり、おくら・とうもろこし等、季節の野菜を栽培してきています。そして秋と言えば、さつまいも♪春に子ども達が植えたものを、皆で掘りおこしました。出てくるおいもや虫の幼虫に、大喜びの子ども達。掘ったらすぐにホットプレートで焼いて、みんな大喜びで食べていました♪街の中の保育所だからこそ、大切にしたい取り組みです♪



2016年11月現在、本学の女性教員比率(専任)は **23.3%** です。